

行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	社会保障分野における情報連携基盤の整備に関する経費		担当部局	政策統括官(社会保障担当)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	社会保障担当参事官室		情報連携基盤推進室長 須田俊孝		
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	なし		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障・税に関わる番号制度についての基本方針(平成23年1月31日社会保障改革検討本部決定) ・社会保障・税番号要綱(平成23年4月28日社会保障・税に関わる番号制度に関する実務検討会) ・社会保障・税番号大綱(平成23年6月30日政府・与党社会保障改革検討本部) 				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	厚生労働省の重要政策課題である社会保障分野の情報化、基盤整備の推進について、ICカードの実証事業を踏まえ、また、社会保障・税に関わる番号制度の検討及び新たな情報通信技術戦略に基づく取組と軌を一にしつつ、情報基盤に求められる技術的要件の整理・技術開発や制度面の検討を着実に進めるため。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	社会保障・税番号制度の導入に向け、社会保障分野において必要となる法改正及びシステム改修等に関する検討を深め、具体化するために必要な取組等を進める。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	331	358	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	社会保障分野における情報連携の仕組みの検討・具体化(社会保障・税番号制度の実装等)		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	社会保障分野サブワーキンググループの開催		活動実績	開催回数	-	-	-	-
			(当初見込み)		-	-	-	(18)
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	情報処理業務庁費	315	320	社会保障・税に関わる番号制度についての基本方針(平成23年1月31日社会保障改革検討本部決定)等において、社会保障・税番号法案及び関係法案の国会提出が平成23年秋以降とされ、平成26年6月に番号を交付、平成27年1月以降、社会保障分野・税分野のうち可能な範囲で「番号」の利用を開始することとされた。平成24年度においては、上記に関連する検討会等の実施及び平成25~26年に必要となるシステム改修等のために必要なデータの標準化に関する設計や開発に必要な経費を要求している。				
	諸謝金	5	12					
	職員旅費	1	1					
	委員等旅費	6	8					
	庁費	3	15					
	外国旅費	-	2					
	計	331	358					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	効率的な予算執行に努めるとともに実績等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。		
予算監視・効率化チームの所見			
	<p>本事業は、社会保障分野の情報化、基盤整備の推進について、ICカードの実証事業を踏まえ、社会保障・税に関わる番号制度の検討及び新たな情報通信技術戦略に基づく取組と軌を一にしつつ、情報基盤に求められる技術的要件の整理・技術開発や制度面の検討を着実に進めるために必要な経費であるので、効率的・効果的な執行に努めながら事業運営を図っていくこと。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成23年度の執行状況を踏まえ、効率的、効果的な運営に努めながら事業を実施する。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					